**について**

＜でる＞にをつけてください

から１がぎました。

でも、がいています。

めのきいのはです。

そのでるのはです。

はからがてばつほどなくなります。

でも、これからもときどききいがあるかもしれません。

があったからくてもがあるかもしれません。

にをつけてください。

○れたのくにかないでください。れたがでもっとれるかもしれません。

○のくにかないでください。がでれてたくさんのやとてもきいがれてきたりからちてきたりするかもしれません。

○きいがあったら、のくからげてください。きいでがるかもしれません。がるとき、とでおらせします。きいがあって、とがたら、のくからすぐにげてください。

**余震（よしん）について**

余震(よしん)＜後(あと)で来(く)る地震(じしん)＞に気(き)をつけてください

地震（じしん）から１ヶ月(かげつ)が過(す)ぎました。

でも、余震(よしん)が続(つづ)いています。

初(はじ)めの大(おお)きい地震(じしん)の名前(なまえ)は本震(ほんしん)です。

その後(あと)で来(く)る地震(じしん)の名前(なまえ)は余震(よしん)です。

余震(よしん)は本震(ほんしん)から時間(じかん)が経(た)てば経(た)つほど少(すく)なくなります。

でも、これからもときどき大(おお)きい余震(よしん)があるかもしれません。

本震(ほんしん)があった場所（ばしょ）から遠(とお)くても余震(よしん)があるかもしれません。

余震(よしん)に気(き)をつけてください。

○壊(こわ)れた家(いえ)の近(ちか)くに行(い)かないでください。壊(こわ)れた家(いえ)が余震(よしん)でもっと壊(こわ)れるかもしれません。

○崖(がけ)の近(ちか)くに行(い)かないでください。崖(がけ)が余震(よしん)で崩(くず)れてたくさんの土(つち)やとても大(おお)きい石(いし)が流(なが)れてきたり上(うえ)から落(お)ちてきたりするかもしれません。

○大(おお)きい余震(よしん)があったら、海(うみ)の近(ちか)くから逃(に)げてください。大(おお)きい余震(よしん)で津波(つなみ)が来(く)るかもしれません。津波(つなみ)が来(く)るとき、津波警報(つなみけいほう)と津波注意報(つなみちゅういほう)でお知(し)らせします。大(おお)きい余震(よしん)があって、津波警報(つなみけいほう)と津波注意報(つなみちゅういほう)が出(で)たら、海(うみ)の近(ちか)くからすぐに逃(に)げてください。